

# 令和元年度 活動報告

## 八幡東区リハビリテーション連絡協議会

R2.11.18

# 組織体制

(会員数) 約110名(29施設)

会長: 日野敏明(済生会八幡総合病院)

副会長: 上地佐知子(北九州福祉サービス)

副会長(代理): 山内康太(製鉄記念八幡病院)

(企画運営委員) 西川浩(正寿園デイケアセンター)

**9名**

高木邦夫(北九州市立八幡病院)

中村典正(介護老人保健施設やすらぎ)

武智薫(ふらて会)

宮崎亜紀(アクティブ応援館かめsun)

吉川夕佳(北九州八幡東病院)

中村麗子(デイサービスセンターたはら)

山田宏明(済生会八幡総合病院)

# 組織体制(現行)

会長： 日野敏明(済生会くれたけ荘)

副会長： 中村麗子(デイサービスセンターたはら)

副会長： 山内康太(製鉄記念八幡病院)

(企画運営委員) 西川浩(正寿園デイケアセンター)

中村典正(介護老人保健施設やすらぎ)

武智薫(ふらて会)

宮崎亜紀(アクティブ応援館かめsun)

吉川夕佳(北九州八幡東病院)

宮崎 洋一(北九州福祉サービス)

山田宏明(済生会八幡総合病院)

高木邦夫(北九州市立八幡病院)

# 活動実績

□ 定例会(8月8日 レインボープラザにて開催)

○講演:高齢者の骨折予防について

講師 福岡県済生会八幡総合病院 日野 敏明 氏

○グループワーク(ワールドカフェ方式)

(1)自分や自分の身の回りでの転倒エピソード

(2)事例報告を聞き(自身の立場で)入院時に必要と思う  
情報

(3)事例報告を聞き(自身の立場で)退院時に必要と思う  
情報

# 参加者：47名

(内訳 PT17名、OT9名、  
NS3名、CM13名、  
介護福祉士5名、  
社会福祉士1名、  
DS管理者1名)



## アンケート結果(参加者の感想)

- ・骨粗鬆症は後期高齢者が多く、長期の継続が必要で、老健等に入所している場合、治療費は施設持ちになるため治療がなかなか進まないことが分かった。
- ・ワールドカフェ型式でいろいろな職種の方と話せて良かった。
- ・職種により考え方が違い、考え方の幅が広がった。

## □ 市民向けイベント

リハビリ専門職による健康・体操教室

(10月26日(土) レインボープラザにて開催)

### ○講演:「毎日の認知症予防」

講師 北九州市立八幡病院 OT 高木邦男氏

### ○実技指導:「楽しく続けよう! 膝痛体操」

講師 アクティブ応援館 かめsun PT 宮崎亜紀氏

### ○個別リハビリ相談

## □ ケアマネ合同研修の開催（12月12日）

- リハ相談事業の事例検討
- グループワーク

参加者63名

（ケアマネジャー26名，リハビリ専門職他31名，事務局6名）

### アンケート結果（参加者の感想）

- リハとCMの考え方の違いを学べた事がよかった。
- 各班が様々な課題と目標が挙がっていて、大変参考になった。
- 自分の班にはない意見も多かったので詳しく聞きたかった。
- 「患者」としての視点ではなく「生活者」としての視点に気付けた事が良かった。

# 成果

○定例会のグループワークにワールドカフェ方式という手法を取り入れ、自身の立場で転倒時後の入退院時に必要な情報を伝えることで職種間を超えて活発な意見交換ができた。

○今年度初めて市民向けのリハビリ専門職による健康・体操教室を開催し、八幡東区リハ協として地域貢献できた。